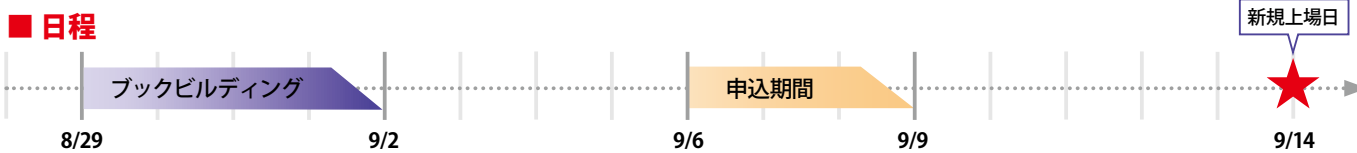


IPO銘柄 カナミックネットワーク (3939・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
3939	100株	公募: 5.40万株 売出: 16.60万株 (OA3.30万株)	2,760円~ 3,000円 (20.4倍)	野村証券



医療・介護従事者を対象にクラウドサービスを提供

■ 事業内容

医療、介護、健康情報などを共有、利活用できるICTプラットフォーム「カナミッククラウドサービス」が主力。「カナミッククラウドサービス」は、クローズ型SNSの情報共有プラットフォーム、ケアプラン作成や業務帳票作成などの介護業務管理システム、子育て支援システムなどのサービスを提供する。15年9月期末のユーザーID数は4万3,876IDで、うち有料ユーザーID数は3万1,389ID。このほか、コンテンツサービスとしてネット広告サービスやホームページ作成サービス、その他サービスとして大口顧客向けカスタマイズ開発、厚生労働省や総務省などのプロジェクト請負、地方創生事業におけるコンサルテーションサービスなど、「カナミッククラウドサービス」の付随ビジネスなどを行っている。16年9月期第3四半期累計（15年10月～16年6月）の売上高構成比はカナミッククラウドサービスが80.8%、コンテンツサービスが3.9%、その他サービスが15.4%となっている。

■ 特徴

「カナミッククラウドサービス」は、自治体職員や医師、看護師、ケアマネージャー、介護サービス事業者といった医療・介護従事者を対象にクラウドサービスを提供。また、高齢者支援事業から子育て支援事業まで活用できるICTプラットフォームの提供も行う。クラウドサービスの各種技術については特許権を有している。

アナリストコメント

■ 定量分析

16年9月期の非連結経常利益は前期比2.3%増の2億4,900万円を予想する。継続的な新規顧客獲得によってユーザー数は順調に拡大を続けている。足元では、医療・介護連携が強まる中で、全国の医師会や包括支援センターからの採用が好調に推移している。

■ 定性分析

これまでの医療分野のIT化に関連した案件は大量の初値買いを集める傾向があり、期待感が高まっている。クラウドサービスを展開する企業もIPOマーケットで人気を集めてきた実績があり、需給面も含めて好条件の揃った案件として注目を集めている。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は7億円程度。ベンチャーキャピタル保有株もなく、需給面は良好となっている。9月14日は3案件が同日上場するが、同社は一番人気となるとみられるため、初値買い資金の分散による悪影響は小さくなさそう。(小泉健太)

■ 類似企業

カナミックネットワーク(3939・マザーズ)	予想PER20.4倍 (仮条件上限)
メディカル・データ・ビジョン(3902・マザーズ)	予想PER139.5倍
メドピア(6095・マザーズ)	予想PER293.0倍

■ 引受証券

野村証券、みずほ証券、SBI証券、岩井コスモ証券、東海東京証券、いちよし証券、岡三証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
14年9月期(実績)	776	38.9	121	91.5	76	2.3倍	69.4	0.0
15年9月期(実績)	1,041	34.1	244	2.0倍	161	2.1倍	146.7	0.0
16年9月期(会社予想)	1,104	6.1	249	2.3	162	0.6	147.2	0.0

※ 16年7月に株式分割(1株→500株)を実施。14年9月期、15年9月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
14年9月期	2,200	516	178	60	162.1	34.5	54.5
15年9月期	2,200	671	339	60	308.7	50.6	62.3

※ 14年9月期および15年9月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	SHO	380,000	30.40
2	山本 拓真	285,000	22.80
3	川西 京也	130,000	10.40
4	山本 稔	125,000	10.00
4	山本 洋子	125,000	10.00
6	山本 景士	58,500	4.68
7	田中 最代治	35,500	2.84
8	まちづくり三鷹	20,000	1.60
8	澤田 秀雄	20,000	1.60
10	荘司 由香子	10,000	0.80
10	井川 幸広	10,000	0.80

経営陣

役職	氏名
取締役会長	山本 稔
代表取締役副会長	山本 洋子
代表取締役社長	山本 拓真
常務取締役 企画制作部部长	山本 景士
取締役 開発部部长	石川 竜太
取締役 管理部部长	磯 巧
取締役 営業部部长	澤 勇治
取締役	有富 寛一郎
取締役	垣添 忠生
取締役	福川 伸次
常勤監査役	今谷 俊夫
監査役	森中 小三郎
監査役	千葉 恒久

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。